UM共通 リリースノート 2301E

発行日	2023/02/20
最終改訂日	2023/05/08

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

目次

目	次	1
齿	な 訂履歴	3
1.	. 概要	5
2.	. 詳細	6
	2.1. 在庫受払台帳照会 作成	6
	2.2. 購買オーダー新規・編集画面作成	6
	2.3. 担当者マスタの共通Lightningレコードページ作成	6
	2.4. 単位マスタの入力チェックを変更	7
	2.5. オブジェクト名変更	7
	2.6. オブジェクト廃止	7
	2.7. オブジェクト項目への追加変更情報	7
	2.8. 不具合修正	9
3.	. アップグレード前の注意事項	11
	3.1. アップグレード前のバージョン確認	11
	3.2. フローの有効化/無効化確認	12
4.	. アップグレード手順	14
5.	. アップグレード後設定の注意事項	17
	5.1. アップグレード対象のUM製品リリースノートに記載のパッケージURL実行がすべて完了してが	
		17
	5.2. 下位バージョンから現在のバージョンまでの設定がすべて完了してから実施ください。	17
_	5.3. 設定対象のアプリケーションについて	17
6.	. UM共通用設定 2023/02/20発行	18
	6.1. フローの有効化/無効化設定	18
	6.2. グローバル選択リスト値セットの追加・編集・削除	18
	6.3. グローバル選択リスト項目の初期値と並び順の変更	23
	6.4. グローバル値選択リストの翻訳ファイルのインポート	25
	6.5. カスタムメタデータ型の項目値変更	28
	6.6. カスタムメタデータ型項目の追加削除によるレイアウト編集	30
	6.7. レポート名の変更	33
	6.8. レポートの設定	35
	6.9. オブジェクトごとの手動設定対象一覧	39
	6.10. Lightningレコードページの有効化解除	41
	6.11. ページレイアウトの割り当て	45
	6.12. ページレイアウトの項目配置変更 6.13. ページレイアウトのアクション変更	48
	6.13. ページレイア・フトのアクション変更 6.14. ページレイアウトの関連リスト配置変更	59
		62
	6.15. ページレイアウトの必須項目の変更	65
	6.16. オブジェクトの選択リスト項目の追加・編集・削除・無効化	67
	6.17. ボタンの設定変更	72
	6.18. 項目セットの追加	75

7. UM共通用設定 2023/03/08改訂	77
7.1. フローの有効化/無効化設定	77
7.2. ページレイアウトの項目配置変更	77
7.3. 月次在庫評価のみを再計算する臨時処理	82

改訂履歴

改訂日		Ver.		改訂内容
	工程 進捗	販売 購買	WMS	
2023/02/20	1.90	1.72	1.39	発行 共通パッケージver schema 1.91.1 label 1.80 utility 1.24 domain 1.96 service 1.18
2023/03/08	1.92.1	1.74.2	1.41.1	共通パッケージver schema 1.91.2 label 1.80 utility 1.24 domain 1.98.3 service 1.18 ● UM共通用設定 2023/03/08改訂 追加 ● UM共通用設定 2023/02/20改訂 修正 ○ オブジェクト項目への追加変更情報 廃止項目(支払実績明細. 消費税計算区分)を追記 ○ 不具合修正の追記 月次在庫評価のみを再計算する臨時処理を追記 ○ グローバル選択リスト項目の初期値と並び順の変更 表の内容を修正 ○ レポート名の変更 ・レポートの名称を変更 「差異表」⇒「棚卸差異表」 「実棚表」⇒「実地棚卸表」・「棚卸差異表」「実地棚卸表」・「棚卸差異表」「実地棚卸表」・「棚卸差異表」「実地棚卸表」・「棚卸差異表」「実地棚卸表」でのフォルダに関する注釈を記載
2023/04/10	1.92.1	1.74.4	1.41.1	共通パッケージver schema 1.91.2 label 1.80 utility 1.24 domain 1.98.5 service 1.18 ■ UM共通用設定 2023/02/20改訂 修正 ○ ページレイアウトの項目配置変更

改訂日	Ver.			改訂内容
	工程 進捗	販売 購買	WMS	
				債権奉行IF/債務奉行IFの項目列を修正 ○ レポート名の変更 レポートの名称を変更 「棚卸差異表」⇒「差異表 または 棚卸差異表」
2023/05/08	1.92.1	1.74.4	1.41.2	共通パッケージver schema 1.91.2 label 1.80 utility 1.24 domain 1.98.7 service 1.18

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

- 在庫受払台帳照会 作成
- 購買オーダー新規・編集画面作成
- 担当者マスタの共通Lightningレコードページ作成
- 単位マスタの入力チェックを変更
- オブジェクト名変更
- オブジェクト廃止
- オブジェクト項目への追加変更情報
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [詳細] よりご確認ください。 アップグレード後の

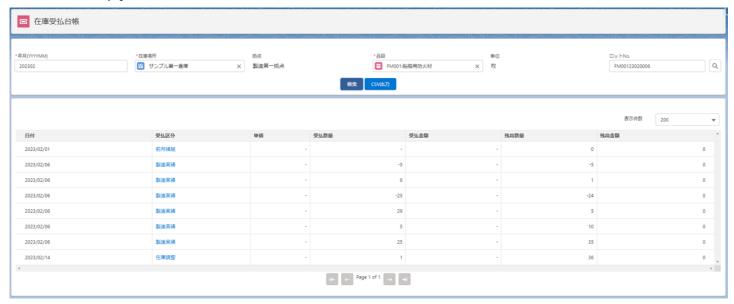
各変更による設定の追加等につきましては、[UM共通用設定]よりご確認ください。

2. 詳細

2.1. 在庫受払台帳照会 作成

在庫の受払情報を年月、在庫場所、品目、ロットNoを検索条件に一覧で照会、CSV出力ができる画面を新たに作成しました。

※UM工程進捗/UM販売購買アプリケーションの「在庫受払台帳照会」タブからご利用いただけます。



2.2. 購買オーダー新規・編集画面作成

画面レイアウト

購買オーダーの新規作成画面・編集画面を作成しました。

購買オーダーの編集は、レコード詳細ページの「編集」ボタンから実施ください。

※レコード詳細ページから直接項目を編集することはできません。



2.3. 担当者マスタの共通Lightningレコードページ作成

UM工程進捗用のLightningレコードページしかご提供できていませんでしたが、UM販売購買でも使用できるLightningレコードページを作成しました。

※設定方法は「Lightningレコードページの有効化解除」をご参照ください。

2.4. 単位マスタの入力チェックを変更

単位マスタ更新時に、在庫情報へッダで該当の単位が使用されている場合、これまでエラーになっていましたが、更新できるように変更しました。

また、単位マスタ削除時に、在庫情報へッダで該当の単位が使用されているかのチェック方法を、単位名称からIDでチェックをするように変更しました。

2.5. オブジェクト名変更

下記表にオブジェクト名が変更となったオブジェクトと理由を記載しました。

オブジェクト	ト 理由			
		工程	販売 購買	WM S
WMS棚卸	棚卸をWMS棚卸に名称を変更しております。	_	1	•
WMS棚卸ロット 詳細	棚卸ロット詳細をWMS棚卸ロット詳細に名称を変更しております。	_	_	•
支払予定明細	支払明細を支払予定明細に名称を変更しております。	_	•	_

2.6. オブジェクト廃止

下記表に廃止となったオブジェクトと理由を記載しました。

オブジェクト	理由		アプリケーション		
		工程	販売 購買	WM S	
仕入先元帳	残高計算の仕様変更のため、オブジェクトを廃止しました。	_	•	_	
債務残高		_	•	_	
支払残高		_	•	_	

2.7. オブジェクト項目への追加変更情報

下記表に追加変更を行ったオブジェクト項目と理由を記載しました。

オブジェクト	変更		 変更理由 	アプリケーション		
	内容			工程進捗	販売購買	WM S
リソースマスタ	リス ト追 加	種別のリストに「機械」を追加	既存選択肢の「人」「他」と区別したいご要望に対応して追加しました。	•		_

オブジェクト	変更	項目	変更理由	アプ!	ノケー	ション
	内容			工程進步	販売購買	WM S
支払予定明細	項目 追加	発生レート	残高の外貨換算対応のため、項 目を追加しました。	_	•	_
支払実績	項目変更	支払予定No.	項目名を「支払No.」→「支払予定 No.」に変更しました。	_	•	_
	項目追加	発生基軸換算金額合計	残高の外貨換算対応のため、項 目を追加しました。	_	•	_
	項目 追加	決済レート		_	•	_
	項目 追加	決済基軸換算金額合計		_	•	_
	項目追加	為替差損益金額合計		_	•	_
支払実績明細	項目追加	発生レート	残高の外貨換算対応のため、項 目を追加しました。	_	•	_
	項目 追加	発生基軸換算金額		_	•	_
	項目 追加	決済基軸換算金額		_	•	_
	項目 追加	為替差損益金額		_	•	_
	項目 削除	廃止:消費税計算区分	支払予定分割に対応するため、 項目を廃止しました。	_	•	_
買掛残高	項目 追加	発生金額(支払予定)	残高の外貨換算対応のため、項 目を追加しました。	_	•	_
	項目 追加	前残基軸換算金額		_	•	_
	項目 追加	発生基軸換算金額(買掛金)		_	•	_
	項目 追加	発生基軸換算金額(前払金)		_	•	_
	項目 追加	発生基軸換算金額(支払手形)		_	•	_

オブジェクト	変更	項目	変更理由	アプリケーション		
	内容			工程進捗	販売購買	WM S
	項目 追加	発生基軸換算金額(期日決済)		_	•	_
	項目 追加	発生基軸換算金額(その他)		_	•	_
	項目追加	発生基軸換算金額(支払予定)		_	•	_
	項目追加	消込基軸換算金額		_	•	_
	項目追加	債務残高基軸換算金額		_	•	
	項目追加	為替差損益金額		_	•	
	項目削除	廃止:部門	残高の集約条件から除いたた め、項目を廃止しました。	_	•	_
	項目 削除	廃止:拠点			•	_
仕入	項目変更	支払予定	項目名を「支払」→「支払予定」 に変更しました。		•	_
請求	項目追加	削除フラグ	請求、支払予定の削除をフラグ からボタンに変更するに伴い、参		•	_
支払予定	項目追加	削除フラグ	照のみの削除フラグ項目を追加 しました。 		•	_

2.8. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。 2023/02/20発行

● 月次在庫締指示

月次在庫評価の当月末在庫数に工程仕掛品が含まれていました。完成品の在庫数のみを対象とする様に修正いたしました。月次在庫締指示にてシステムを稼働した月まで解除し、 締処理の再実行をお願い致します。

月次在庫締指示では再実行すると月次在庫評価だけでなく月次在庫も再計算されます。月次在庫の再計算を回避する場合は2301Eパッチとしてリリースする予定の月次在庫評価のみを再計算する臨時処理を実行ください。

2023/03/08改訂

● 月次在庫締指示

月次在庫評価の単価・金額計算に誤りがありました。工程仕掛品を含めて計算を行っていたため、完成品の在庫数のみを対象として計算する様に修正いたしました。月次在庫締指示にてシステムを稼働した月まで解除し、締処理の再実行をお願い致します。

月次在庫締指示では再実行すると月次在庫評価だけでなく月次在庫も再計算されます。月次在庫の再計算を回避する場合は後述の月次在庫評価のみを再計算する臨時処理を実行ください。

• 月次在庫評価のみを再計算する臨時処理

前述の月次在庫評価の不具合修正に伴い、月次在庫評価のみを再計算するためのデータパッチ用画面を追加しました。

「UM共通用設定 2023/03/08改訂」の「月次在庫評価のみを再計算する臨時処理」に記載の手順に従い、既存の月次在庫評価レコードの更新を行ってください。

2023/05/08改訂

- 月次在庫締指示
 - ・実行時に、WMS月次在庫が一部作成されない不具合を解消いたしました。
 - ・処理済のWMS在庫明細を再度対象としていた為、WMS月次在庫の在庫数が不正な値になってしまう不具合を解消いたしました。

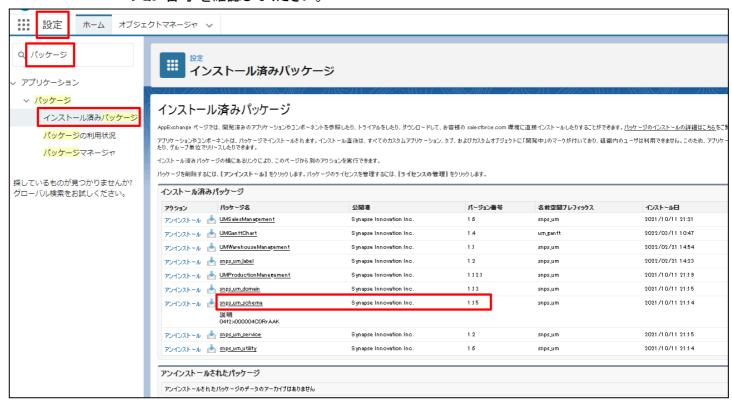
3. アップグレード前の注意事項

3.1. アップグレード前のバージョン確認

アップグレード前に現在のスキーマバージョンの確認をしてください。設定するバージョンを把握するために必要です。

<手順>

- 1) 設定メニューより、ホーム > 「インストール済みパッケージ」をクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに「インストール済みパッケージ」と入力すると簡単に見つけられます。
- 2) [インストール済みパッケージ] ページが表示されます。パッケージ名[snps_um_schema] レコードの、 バージョン番号 を確認してください。



3.2. フローの有効化/無効化確認

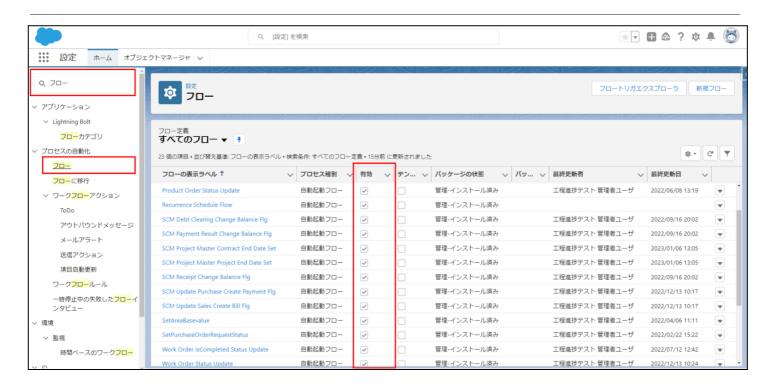
アップグレード前に、フローの有効化、無効化の状態を確認してください。 製品のフローを手動で無効化している場合、アップグレードを行うと、自動で有効化されます。 アップグレードを行う前にフローを確認し、アップグレード後に元のフローの状態に変更ください。 確認対象のフローは下記を参照ください。

※お客様独自で追加されたフローは確認対象外です。

フローの表示ラベル	アプリケー	ション	
	工程進捗	販売購買	WMS
Product Order Status Update	•	_	_
Work Order Status Update	•	_	_
Work Order Status Update Product Order	•	_	_
Work Order Status Update Resource Log	•	_	_
Work Order Status Update Resource Result	•	_	_
Work Order isCompleted Status Update	•	_	_
SCM Project Master Contract End Date Set	_	•	_
SCM Project Master Project End Date Set	_	•	_
SCM Update Sales Create Bill Flg	_	•	_
SCM Debt Clearing Change Balance Flg	_	•	_
SCM Payment Result Change Balance Flg	_	•	_
SCM Receipt Change Balance Flg	_	•	_
SetPurchaseOrderRequestStatus	_	•	_
SCM Update Purchase Create Payment Flg	_	•	_
SetAreaBasevalue	_	_	•

<手順>

- 1) 設定メニューより、ホーム >「フロー」をクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに「フロー」と入力すると簡単に見つけられます。
- 2) [フロー] ページが表示されます。「有効」欄を確認し、アップグレード後に元の状態に戻してください。



4. アップグレード手順

パッケージURL:

①Schema ver.1.91.2

https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004NzcXAAS

2 Label ver.1.80.0

https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004NzV7AAK

(3) Utility ver.1.24.0

https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004NzVMAA0

4 Domain ver. 1.98.7

https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004XXxYAAW

5 Service ver.1.18.0

https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004NzJkAAK

<手順>

1) 本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。

上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。

(例) https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID

2) ①Schema~⑤Serviceのアップグレードを実施します。

上記パッケージURLにアクセスします。

※パッケージURL①から順番にアップグレードを行ってください。

※パッケージごとに、手順 3)~ 6)のアップグレード作業を繰り返し行ってください。

3) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。



- 4) アップグレード実行画面が表示されます。
 - ※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名を確認してください。
 - ※インストール済みverと新しいバージョンverが同じ場合はそのパッケージのアップグレードは不要です。

く実行手順>

- a) 「管理者のみのインストール」をクリックします。
- b) 下図のように「同意」チェックボックスがある場合はONにします。
- c)「アップグレード」ボタンをクリックします。



5) アップグレード完了後、画面に [アップグレードが完了しました] とメッセージが表示されます。「完了」 ボタンをクリックします。

下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。



6) [インストール済みパッケージ] ページが表示されます。インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。
①Schema~⑤Serviceのアップグレードがすべて完了したらUM製品のリリースノートに戻り、UM製品のアップグレードを行ってください。



5. アップグレード後設定の注意事項

アップグレード内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。

各注意事項をご確認のうえ、設定をお願いいたします。

ご利用のバージョンや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

5.1. アップグレード対象のUM製品リリースノートに記載のパッケージURL実行がすべて完了してから実施ください。

く対象パッケージ>

- 1)Schema
- 2Label
- (3)Utility
- 4Domain
- (5) Service
- ⑥アップグレード対象のUM製品
- 5.2. 下位バージョンから現在のバージョンまでの設定がすべて完了してから 実施ください。

現在のバージョンの設定の前に、[アップグレード前のバージョン確認]で確認したバージョン(=下位バージョン)からアップグレード後のバージョン(=現在のバージョン)までの設定を行ってください。 設定内容は各バージョンの [スキーマアップグレード設定資料] [UM共通:リリースノート]の設定内容を参照してください。

(対象バージョン例)

下位バージョンが 1.0 、現在のバージョンが 1.2 の場合は、ver1.1、ver1.2 の2バージョンの設定が必要です。

5.3. 設定対象のアプリケーションについて

各設定内容には設定対象の表を作成しており、対象のアプリケーションに●をつけています。 アップグレードしたUM製品に●がついている設定内容は必ず設定してください。

(例)下記の場合はUM工程進捗をアップグレードした場合には必ず設定してください。



6. UM共通用設定 2023/02/20発行

6.1. フローの有効化/無効化設定

[フローの有効化/無効化確認]で確認したフローと、バージョンアップ後のフローを照らし合わせ、有効化の状態に変更がある場合は、バージョンアップ前の状態に変更ください。 確認対象のフローや設定手順は「フローの有効化/無効化確認」を参照ください。

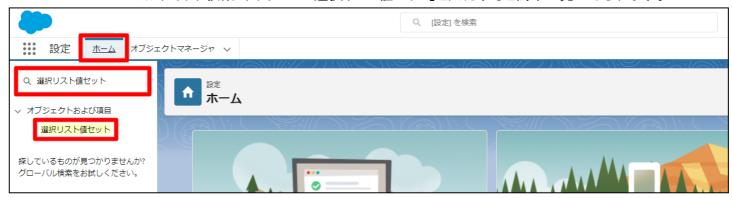
6.2. グローバル選択リスト値セットの追加・編集・削除

下記表のグローバル値セットに選択リスト値を追加・編集します。

グローバル値セット 表示ラベル	選択リスト値	変更 内容	API 参照名
Resource Type (種別)	machine	追加	※API参照名の変更は不要

<手順>(例) Event Div ValueにLot Changeを追加

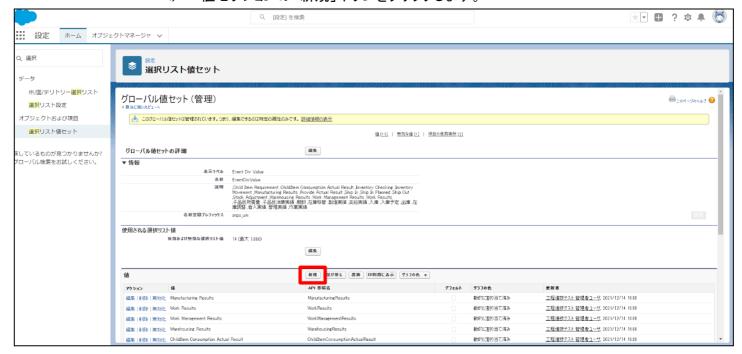
1) 設定メニューより、ホーム >の「選択リスト値セット」をクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに「選択リスト値セット」と入力すると簡単に見つけられます。



- 2) [選択リスト値セット] ページが表示されます。[グローバル値セット] セクションの該当の表示ラベルをクリックします。
 - ※索引をクリックすると簡単に見つけられます。



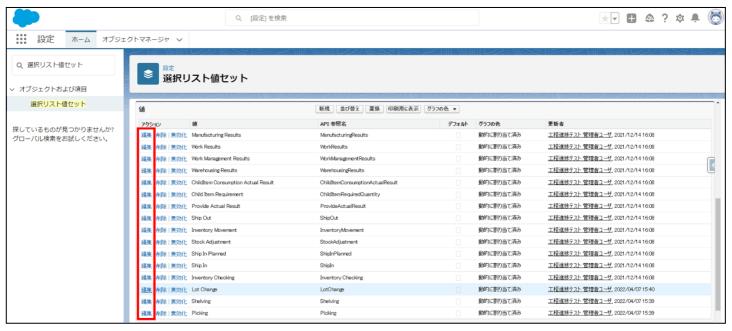
- 3) [グローバル値セット(管理)] ページが表示されます。[値] セクションの該当のボタンをクリックします。
 - a) 「新規の場合」
 - i) 値セクションの「新規」ボタンをクリックします。



- ii) [選択リスト値の追加] ページが表示されます。入力欄に追加する選択肢を入力し、「このグローバル値セットを使用するすべてのレコードタイプに新しい選択リスト値を追加します。」チェックボックスをONにして、「保存」ボタンをクリックします。API 参照名の編集が必要な場合は次の手順に進んでください。
 - ※入力欄には複数の選択肢を一括入力することができます。改行して入力してください。



iii) API 参照名の編集が必要な場合、値セクションの「編集」ボタンをクリックします。



iv) API 参照名を修正し、「保存」ボタンをクリックします。



b) 「編集」の場合

i) 該当の選択リスト値の「編集」ボタンをクリックします。



- ii) [選択リスト値の編集] ページが表示されます。変更内容に記載の内容を変更し「保存」ボタンをクリックします。
 - (例)表示ラベルの変更



c)「削除」の場合

i) 該当の選択リスト値の「削除」ボタンをクリックします。



ii) [値の置換] ページが表示されます。 削除する値の代わりとなる値を指定して「保存」ボタンをクリックします。



6.3. グローバル選択リスト項目の初期値と並び順の変更

下記表のグローバル値セットの選択リスト値の初期値と並び順を変更します。

グローバル値セット 表示ラベル	選択リスト値の初期値	選択リスト値の並び順
Resource Type (種別)	設定不要	並び順を下記の順に変更 person machine other

- <手順>(例)工程手配明細マスタの有償支給区分の初期値をNotにし、並び順を変更する。
 - 1) 設定メニューより、ホーム >の「選択リスト値セット」をクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに「選択リスト値セット」と入力すると簡単に見つけられます。



- 2) [選択リスト値セット] ページが表示されます。[グローバル値セット]セクションの該当の表示ラベルをクリックします。
 - ※索引をクリックすると簡単に見つけられます。



3) [グローバル値セット(管理)] ページが表示されます。「並び替え」ボタンをクリックします。 ※初期値に変更する選択肢項目の [デフォルト] 欄が ON になっている場合、[値] セクション の並び順が対象の並び順になっている場合は、以降の手順は不要です。



4) [選択リスト値の編集] ページが表示されます。[値の並び替え] セクションで値の並び順とデフォルト値を設定し、「保存」ボタンをクリックします。



6.4. グローバル値選択リストの翻訳ファイルのインポート

本アップグレードでの翻訳ファイルバージョンは「Ver1.91.1」となります。

<差分の翻訳ファイルの適用手順>

- ※ [グローバル選択リスト値の追加]を事前に行ってください。
 - 1) シナプスイノベーションのHPの [シナプス製品サポートページ] を開きます。 https://www.synapse-i,jp/support/snps
 - 2) [シナプス製品サポート会員限定コンテンツはこちら] の「ログインページへ」ボタンをクリックし、ログインしてください。





シナプス製品サポート会員限定コンテンツ ログインページ



3) 「フォーマットページへ」ボタンをクリックします。



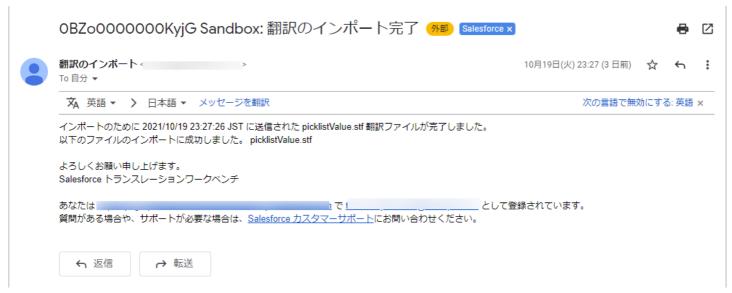
- 4) 必要なアップグレード用翻訳ファイルをダウンロードしてください。
- 5) 適用する環境の設定メニューより、ホーム >の「インポート」をクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに「インポート」と入力すると簡単に見つけられます。



6) [インポート] ページが表示されます。「ファイルを選択」ボタンをクリックして起動する画面に 手順 4)でダウンロードしたファイルを選択し、「インポート」ボタンをクリックします。



- 7) インポート完了のメールが届くことを確認してください。メールの件名が「翻訳のインポートに失敗しました」の場合は、お手数ですが、下記のいずれかを何度かお試しください。
 - ・再度、手順 6) を実行する。
 - ・1度ログアウトし、再度ログインの上、手順 6)を実行する。



6.5. カスタムメタデータ型の項目値変更

下記表のカスタムメタデータ型項目の値の変更を行います。

カスタムメタデータ型 表示ラベル	項目	変更前	変更後
システム制御	廃止:債務残高計算フラグ ※既にチェックオフの場合は追加の設定は不要です。	チェックオン	チェックオフ

<手順>(例)UM工程バッチ処理最大件数

- 1) 設定メニューより、設定 >カスタムメタデータ型をクリックします。※ クイック検索 ボックスに「カスタムメタデータ型」を入力すると簡単に見つけられます。
- 2) 該当の「表示ラベル」の「レコードの管理」をクリックします。



3) アクションの「編集」リンクをクリックします。



4) 項目値(例 件数)を変更して「保存」ボタンをクリックします。



6.6. カスタムメタデータ型項目の追加削除によるレイアウト編集

下記表のカスタムメタデータ型項目の追加削除に伴い、レイアウトの編集を行います。 設定することで、追加項目が使用できるようになり、削除項目が使用できなくなります。 カスタムメタデータ型の説明の詳細は「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「カスタムメタ データ型の設定【必須/任意】」をご参照ください。

※廃止項目がレイアウトにある場合は、レイアウトから削除してください。

カスタムメタデータ型 表示ラベル	ページレイアウト	追加/ 削除	項目
システム制御	System Controlレイアウト	追加	伝票未確定フラグ(Slip Unconfirmed Flg)
		追加	実地棚卸表Id(PhysicalStockReportId) ※使用方法は、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「初期設定(UMWMS)」の「レポート出力の設定 【必須】」をご参照ください。
		追加	棚卸差異表Id(DifferenceStockReportId) ※使用方法は、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「初期設定(UMWMS)」の「レポート出力の設定 【必須】」をご参照ください。
		削除	廃止:債務残高計算フラグ(APBalanceCalculated) ※債務残高計算フラグの値がチェックオフであることを ご確認の上、レイアウトより削除ください。
		追加	販売単価マスタ適用基準日 (SalesPriceMasterBasisDate)
UMドメイン設定	UMドメイン設定レイア ウト	削除	棚卸修正一覧最大件数 (InventoryCheckingEditListMaxSearchSize) ※既に削除済の場合、追加の設定は不要です。

<手順>(例)システム制御

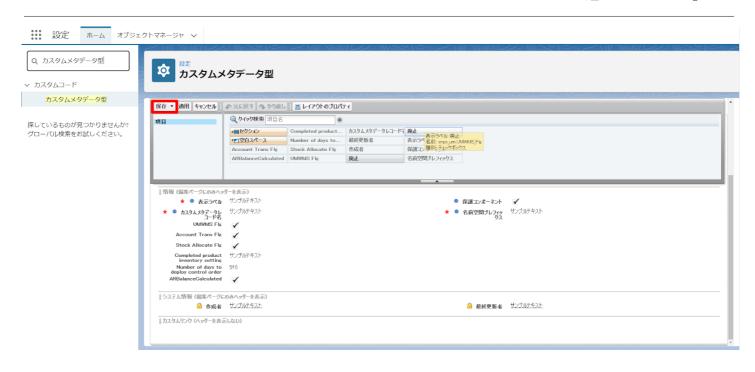
- 5) 設定メニューより、設定 >カスタムメタデータ型をクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに「カスタムメタデータ型」を入力すると簡単に見つけられます
- 6) 「該当の表示ラベル」をクリックします。



7) 該当のカスタムメタデータ型の詳細ページが表示されます。ページレイアウトセクションの該当ページレイアウトのアクション「編集」リンクをクリックします。



- 8) ページレイアウト個別のページが表示されます。項目をドラッグ&ドロップで任意の場所に配置 します。
- 9) 「保存」ボタンをクリックします。 ※System Controlレイアウトの配置例



6.7. レポート名の変更

下記表のレポート名を変更します。

レポート名	変更後のレポート名
仕入先元帳(※)	廃止/Abolition
債務残高(※)	廃止/Abolition
支払残高(※)	廃止/Abolition
差異表 または 棚 卸差異表 ※「UMWMS」フォル ダ配下のレポート が対象	WMS棚卸差異表/WMS Diff Stock Report
実地棚卸表 ※「UMWMS」フォル ダ配下のレポート が対象	WMS実地棚卸表/WMS Physical Stock Report

(※)廃止となったレポートは、今後ご利用いただけません。

<手順>(例)在庫一覧(ロット別)

1) 対象のレポートを開き、「編集」ボタンをクリックします。



2) 対象レポートの編集ページが表示されます。レポート名右横の「鉛筆」アイコンをクリックします。



3) レポート名を編集し、エンターキーを押します。



4) 「保存&実行」ボタン、または、「保存」ボタンをクリックします。



6.8. レポートの設定

レポートの変更に伴い、設定を変更します。

共通手順以外は変更内容によって手順が異なります。下記表の手順に記載の手順に従って設定してください。実際の手順は下記表の後に順に記載しています。

<共通手順:レポート編集画面までの遷移>

<共通手順:レポート編集内容を保存>

<手順1:検索条件を変更> <手順2:項目を追加>

<手順3:レコード表示スイッチを変更>

<手順4:並び替え設定を変更>

レポート名	手順	変更内容	内容詳細	アプリケーション		
				工程 進捗	販売 購買	WM S
買掛残高	手順 2	項目を追加	「列」に下記項目を追加してください。 ※推奨:「発生金額(その他)」の下に追加・発生金額(支払予定) ※推奨:「列」の最後に追加・前残基軸換算金額(買掛金)・発生基基軸換算金額(前払手済)・発生基基軸換算金額(表の他)・発生基基軸換算金額(表別・発生基基軸換算金額(表別・発生基基軸換算金額・発生基基軸換算金額・消務差損益金額・清務差損益金額・清務差損益金額・清務差損益金額・清務差損益金額・清殊主部門」が表別できます。・「廃止:拠点」			
	手順 3	レコード表示スイッチを 変更	下記項目のスイッチを変更してください。 ・詳細行:ON ・小計:OFF ・総計:OFF	_	•	_

く共通手順:レポート編集画面までの遷移>(例)在庫一覧(品目ロット別)の編集画面を開く

- 1) レポートを開きます。※UM工程進捗、UM販売購買、UMWMSの各アプリに「レポート」タブがあります。どのアプリから開いても問題ありません。
- 2) すべてのレポートをクリックします。

- 3) 検索ボックスにレポート名を入力すると、自動で前方一致検索され、該当するレポートが絞り込み表示されます。
- 4) 編集するレポートレコードの右側にある「▼」メニューから「編集」をクリックすることで編集画面 に遷移できます。



<共通手順:レポート編集内容を保存>

1)編集が終了したら「保存&実行」ボタン、または、「保存」ボタンをクリックすることで保存されます。



<手順1:検索条件を変更>(例)検索条件日付項目を【廃止】最終出庫日から最終受払日に変更

- 1) 検索条件を表示します。
- 2) 設定を変更する項目をクリックします。
- 3) 条件を変更し、「適用」ボタンをクリックします。 ※編集内容を確定する場合は保存してください。



<手順2:項目を追加>(例)新規生産計画レポートの「行をグループ化」に入庫場所を、「列」の先頭に品目を追加

- 1) アウトラインを表示します。
- 2) 項目を追加するグループ/列の検索ボックスに項目を入力すると自動であいまい検索され該 当項目が絞り込み表示されます。



- 3) 追加したい項目をクリックすることでグループ/列の最後列に追加されます。
- 4) ドラッグアンドドロップで項目の配置を変更することができます。 ※項目の配置が変更できない場合は、画面下部の「詳細行」のスイッチをONにすることで、変更可能です。
 - ※編集内容を確定する場合は保存してください。



<手順3:レコード表示スイッチを変更>

1) 画面下部のスイッチをON/OFF切り替えることで設定を変更することができます。 ※編集内容を確定する場合は保存してください。



<手順4:並び替え設定を変更>(例)支払先の並び替えを「昇順に並び替え」を設定

- 1) プレビュー画面を最新の編集内容にするために更新をクリックします。
 - ※プレビューにレポートの項目が表示されない場合は、画面の倍率を下げることにより表示されます。
 - ※既に最新の場合は次の手順に進んでください。



2) 列のヘッダーの「▼」メニューより並び替え設定を変更することができます。 ※編集内容を確定する場合は保存してください。



Confidential

6.9. オブジェクトごとの手動設定対象一覧

下記表に手動設定が必要なオブジェクトの情報を一覧にしました。オブジェクトに複数の手動設定が無いかの確認等にご利用ください。

オノンェクト	にを致り	丁到议及	- 10. 111 0.11	・ロブル田 可心っ	チェーニャル	11 //~ Cr,	0		
オブジェクト	Lightni ngレドジ ーー有化除	ペレウ り り て	ペレウ項配変 でまる でんり	ペレウアシック アショ更 で	ペレウ関ス置更 ーイの連配 要	ペレウ必項の更 ーイト須目変 ジアの	オジト択トの加集除効ブェのリ項追・・化・化	ボタン 定 更 更	項目 セッ追 加
担当者マスタ	•	_	_	_	_	_	_	_	_
リソースマスタ	_	_	_	_	•	_	_	_	_
受注見積		_	_			•		_	_
受注見積明細		•		_	_	_		_	_
受注明細	_	•		_	_	_	I	_	•
出荷実績明細	_	•	ı	_	_	_	ı		
売上明細	_	•		_	_	_	I	_	_
請求	_		•	•	_	_	•	•	_
請求明細	_	•	1	_	_	_	1	_	_
購買オーダー	_	_	•	_	_	_		•	_
発注明細	_	•	_	_	_	_	_	_	_
入荷実績明細	_	•	_	_	_	_	_	_	_
仕入明細	_	•	_	_	_	_	_	_	_
支払予定	_	_	•	•	_	_	_	•	_
支払予定明細	_	•	•	_	_	_	_	_	•
WMS棚卸	_	_	•	_	_	_	_	_	_
支払実績	_	_	•	_	_	_	_	_	_
支払実績明細	_	_	•	_	_	_	_	_	_
買掛残高	_	_	•	_	_	_	_	_	_
受取手形	_	_	•	_	_	_		_	_

オブジェクト	Lightni ngレドン コペの効解 解除	ペレイア ウトり 当 て	ペレウ項配変でアの目置更	ペレウアシ変 ーイアの ショ更	ペレウ関ス置更がアのリ配	ペレウ必項の更ーイト須目変ジアの	オジト択トの加集除効ブェのリ項追・・・化	ボタ 設 変 更	項目 セット の加
債権期日決済	_	_	•	_	_	_	_	_	_
支払手形	_	_	•	_	_	_	_	_	_
債務期日決済	_	_	•	_	_	_	_	_	_
子品目消費実績	_	_	_	_	_	•	_	_	_
債権奉行IF	_	_	•	_	_	_	_	_	_
債務奉行IF	_	_	•	_	_	_	_	_	_

6.10. Lightningレコードページの有効化解除

下記Lightningレコードページの有効化解除をします。

新たに担当者マスタの製品共通Lightningレコードページを作成しました。適用するために、下記 Lightningレコードページを組織のデフォルトに手動で割り当てしていただいていた場合は必ずこの設 定で割り当て削除をしてください。

※組織のデフォルトに手動で割り当てはシステム管理者で必須の初期設定としてご案内していました。



<手順>(例)担当者マスタ「UM工程進捗_担当者マスタデフォルト詳細」を組織のデフォルトから割り当て削除する。

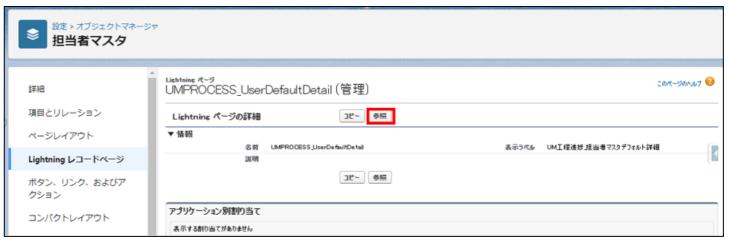
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ >対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



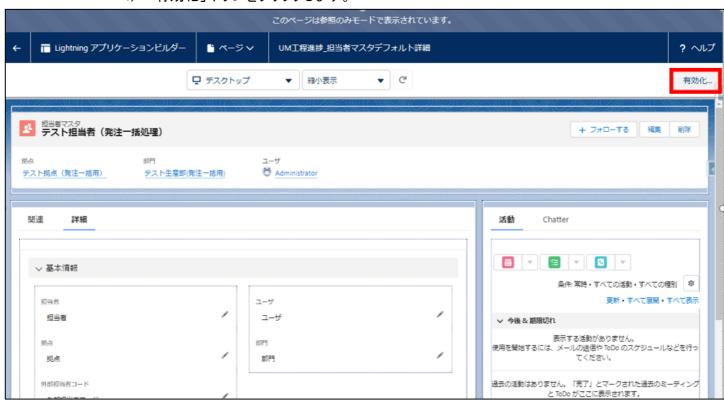
2) 「Lightning レコードページ」をクリックし、対象の「Lightningレコードページ」をクリックします。 ※割り当てのされている要素(デスクトップ、電話、デスクトップおよび電話)を確認してください。手順6)で使用します。下図ではデスクトップおよび電話に対して組織のデフォルトに割り当てされています。



3) 「参照」ボタンをクリックします。



4) 「有効化」ボタンをクリックします。



5)「組織のデフォルトを削除」ボタンをクリックします。



6) 「デスクトップおよび電話」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。 ※手順2)の画面で割り当てられているものを選択してください。



7) 「保存」ボタンをクリックします。



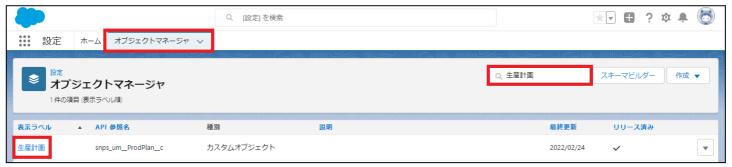
6.11. ページレイアウトの割り当て

下記表のオブジェクトにページレイアウトを割り当てます。

オブジェクト	ページレイアウト	アプリ	ケーショ	シ
		工程 進捗	販売 購買	WM S
受注見積明細	UM販売管理 Sales Order Estimate Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
受注明細	UM販売管理 Sales Order Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
出荷実績明細	UM販売管理 Ship Results Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
売上明細	UM販売管理 Sales Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
請求明細	UM販売管理 Bill Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
発注明細	UM販売管理 Purchase Order Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
入荷実績明細	UM販売管理 Receive Result Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
仕入明細	UM販売管理 Purchase Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_
支払予定明細	UM販売管理 Payment Detailレイアウト ※既に割り当て済みの場合は設定不要です。	_	•	_

<手順> (例)生産計画

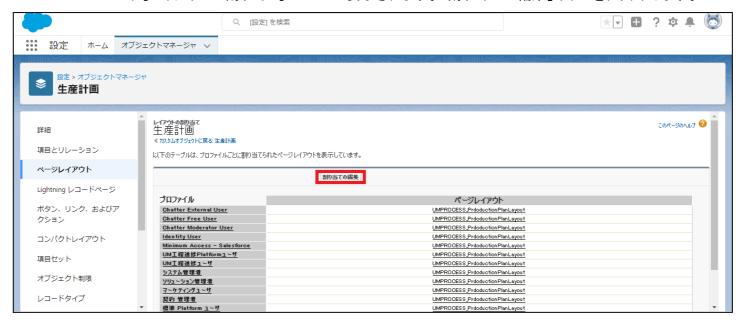
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ >対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイア ウト] ページの「ページレイアウトの割り当て」ボタンをクリックします。



3) [レイアウトの割り当て] ページが表示されます。「割り当ての編集」ボタンをクリックします。



4) [ページレイアウトの割り当てを編集] ページが表示されます。割り当てるページレイアウトをクリックして選択します。

※ページレイアウト欄のタイトルをクリックするとすべての行を選択できます。



5) 使用するページレイアウトから対象のページレイアウトをクリックして選択し、「保存」ボタンをクリックします。



6.12. ページレイアウトの項目配置変更

下記表のオブジェクトの項目変更に伴い、割り当て済みページレイアウトに対して項目配置と設定変更をします。

※カスタムLightningレコードページをご利用の場合はLightningレコードページにも追加対応が必要です。

追加項目の反映方法につきましては、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「Lightningレコードページの項目追加」をご参照ください。

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリケーション			
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS	
WMS棚卸	UMWMS Inventory Checking	追加	備考(Remarks)	_	_	•	
	Layout	削除	予定開始日(Planned Start Date)	_	_	•	
		削除	予定終了日(Planned End Date)	_	_	•	
		削除	棚番(Shelf Number)	_	_	•	
		削除	ステータス (Status)	_	_	•	
支払予定明細	UM販売管理 Payment Detailレイ アウト	追加	発生レート(Origin Rate)	_	•	_	
支払実績	Payment Result Layout	追加	発生基軸換算金額合計 (Origin Key Conversion Amount Sum)	_	•	_	
		追加	決済レート(Settlement Rate)	_	•	_	
		追加	決済基軸換算金額合計 (Settlement Key Conversion Amount Sum)	_	•	_	
		追加	為替差損益金額合計 (Foreign Exchange Gain Loss Amount Sum)	_	•	_	
		追加	データ連携済(Data Transfered)	_	•	_	
		追加	作成日(Created Date)		•	_	

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリク	ケーショ	ע
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
		追加	支払部門(Payment Department)	_	•	
		追加	国(Country)	_	•	
		追加	銀行(Bank)	_	•	
		追加	銀行支店(BankBranch)	_	•	
		追加	EB利用(EB Use)	_	•	
		追加	EB作成済(EB Created)	_	•	
		追加	手数料金額(Rimit Amount)	_	•	_
		追加	実績手数料金額(Rimit Amount Result)	_	•	_
		追加	支払担当者(Payment User)	_	•	_
		追加	入力担当部門(Input User Department)	_	•	_
		追加	入力担当者(Input User)	_	•	_
		追加	支払先責任者(Payment Supplier Contact)	_	•	_
		追加	通貨(Currency)	_	•	_
		追加	レート(Rate)	_	•	_
		追加	備考(Note)	_	•	_
		追加	削除フラグ(Delete Flg)	_	•	_
		追加	赤伝フラグ(Red Slip Flg)	_	•	_
		追加	発生支払実績No.(Origin Payment Result No)		•	
		追加	相手支払実績(Opposite Payment Result)	_	•	_
		追加	購買モニター(Purchase Monitor)	_	•	_

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリク	ケーション	٠
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
		追加	前払金(Advance Payment)	_	•	_
		追加	債務振替金額合計(AP Transfer Sum)	_	•	_
		追加	支払振替金額合計 (Payment Transfer Sum)	_	•	_
		追加	入力可否フラグ(Input availability Flg)	_	•	_
		追加	拠点(Base)	_	•	_
		追加	レート取得基準日(Rate Basis Date)	_	•	_
		追加	前払金金額(数式) (Advance Payment Amount (Formula))	_	•	_
		追加	自社出金口座(Paying Account)	_	•	_
		追加	国内決済方法(Domestic Settle Method)	_	•	_
		追加	支払先(Payment Supplier)	_	•	_
		追加	伝票ステータス(Slip Status)	_	•	_
		追加	レート換算丸めモード (Exchange Rate Rounding Mode)	_	•	_
		追加	手数料負担(Remit Fee) ※項目が3つあるので注意 「名前: snps_umRemitFee2c」を 配置		•	_
		追加	伝票区分(Slip Type)		•	_
		追加	支払予定№.(Um Payment No)	_	•	_

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリク	ケーション	ン
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
		追加	口座番号(Account No) ※項目が2つあるので注意 「名前: snps_um_AccountNo2_c」 を配置	1	•	
			口座名義人(Account Holder) ※項目が2つあるので注意 「名前: snps_umAccountHolder2_ _c」を配置	_	•	
		追加	残高作成フラグ(Balance Create Flg)	_	•	_
			前払金金額(Advance Payment Amount)	_	•	_
支払実績明細	明細 Payment Result Detail Layout	追加	発生レート(Origin Rate)	_	•	_
		追加	発生基軸換算金額(Origin Key Conversion Amount)	_	•	_
		追加	決済基軸換算金額 (Settlement Key Conversion Amount)		•	
		追加	為替差損益金額(Foreign Exchange Gain Loss Amount)	_	•	_
		追加	支払予定(Payment)	_	•	_
		追加	支払予定明細(Payment Detail)	_	•	_
		追加	データ区分(Data Type)	_	•	_
		追加	前払金(Advance Payment)		•	_
		追加	仕入明細(Purchase Detail)	_	•	_
		追加	支払予定日(Payment Plan Date)	_	•	_

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリク	ケーション	ン
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
		追加	支払先(Payment Cust)	_	•	_
		追加	仕入先(Supl)	_	•	_
		追加	支払部門(Bill Department)	_	•	_
		追加	プロジェクト(Project)	_	•	_
		追加	債務振替項目(AP Transfer Account)	_	•	_
		追加	支払振替項目(Payment Transfer Account)	_	•	_
		追加	備考(Note)		•	_
		追加	税種(Tax Type)	_	•	_
		追加	税率(Tax Rate)	_	•	_
		追加	金額(Amount)	_	•	_
		追加	並び順(Display Order)	_	•	_
		追加	製番(Product No)	_	•	_
		追加	消費税計算区分 (Consumption Tax Calculate Division) ※2023/03/08改訂分にて 廃止となったため設定不要 です。		•	
		追加	支払予定分割(Split Payment Plan)	_	•	_
買掛残高	AP Balance Layout	追加	発生金額(支払予定) (Payment Schedule Accrue Amount)	_	•	_
		追加	前残基軸換算金額 (Previous Key Conversion Balance)	_	•	_
		追加	発生基軸換算金額(買掛金)(AP Accrue Key Conversion Amount)	_	•	_

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリク	ケーション	ン
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
		追加	発生基軸換算金額(前払 金)(Advance Payment Accrue Key Conv Amount)	_	•	
		追加	発生基軸換算金額(支払 手形)(Note Payable Accrue Key Conv Amount)	_	•	
		追加	発生基軸換算金額(期日 決済)(DueDate Accrue Key Conversion Amount)	_	•	
		追加	発生基軸換算金額(その 他)(Other Accrue Key Conversion Amount)	_	•	_
		追加	発生基軸換算金額(支払 予定)(Payment Schedule Accrue Key Conv Amount)	_	•	_
		追加	消込基軸換算金額 (Cleared Key Conversion Amount)	_	•	
		追加	債務残高基軸換算金額 (DB Balance Key Conversion Amount)	_	•	
		追加	為替差損益金額(Foreign Exchange Gain Loss Amount)	_	•	
		削除	廃止:部門 (zz_Abolition:Department)	_	•	
		削除	廃止:拠点 (zz_Abolition:Base)	_	•	_
受取手形	UM販売管理 Note Receivableレ イアウト	追加	伝票ステータス(Slip Status)	_	•	_
債権期日決済	UM販売管理 AR Due Date Settlementレイアウト	追加	伝票ステータス(Slip Status)	_	•	_
支払手形	UM販売管理 Note Payableレイアウト	追加	伝票ステータス(Slip Status)	_	•	_

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリク	ケーション	
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
債務期日決済	UM販売管理 AP Due Date Settlementレイアウト	追加	伝票ステータス(Slip Status)	_	•	_
請求	情求 UM販売管理 Billレイアウト		削除フラグ(Delete Flg) ※項目が2つあるので注意 「名前:snps_um_DeleteFlg」を削除	_	•	_
	支払予定 UM販売管理 Paymentレイアウト	追加	削除フラグ(Delete Flg) ※項目が2つあるので注意 「名前: snps_umFormulaDeleteFl g」を配置	_	•	_
支払予定	支払予定 UM販売管理 Paymentレイアウト	削除	削除フラグ(Delete Flg) ※項目が2つあるので注意 「名前:snps_um_DeleteFlg」を削除	_	•	_
		追加	削除フラグ(Delete Flg) ※項目が2つあるので注意 「名前: snps_um_FormulaDeleteFl g」を配置	_	•	_
受注見積	UM販売管理 Sales Order Estimateレイアウト	必須 外す	見積有効期限(Estimate Term)	_	•	_
下記は奉行クラウ	フド連携をご利用のお客様のみ設定ぐ	(ださい。				
債権奉行IF	AR Bugyo IF Layout	削除	廃止:処理結果 (zz_Abolition:Error Info) ※項目が2つあるので注意 「名前:snps_um_ErrorInfo」を削除	_	•	_
債務奉行IF	AP Bugyo IF Layout	削除	廃止:処理結果 (zz_Abolition:Error Info) ※項目が2つあるので注意 「名前:snps_um_ErrorInfo」を削除	_	•	_

<手順> (例)品目マスタ

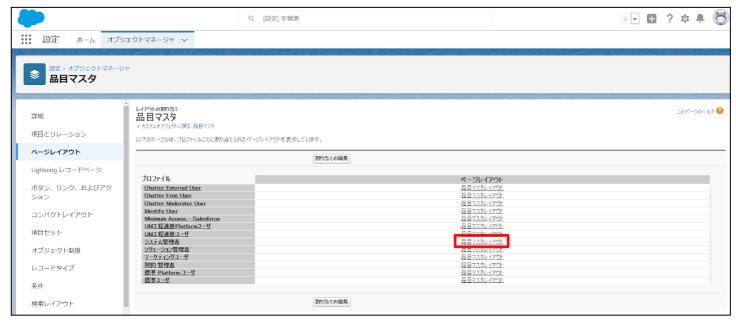
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ >対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



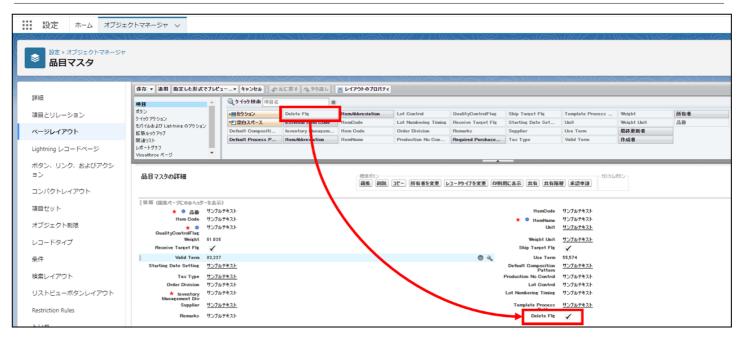
2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイア ウト] ページの「ページレイアウトの割り当て」ボタンをクリックします。



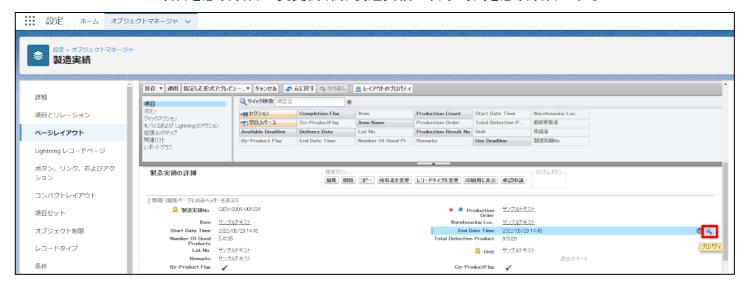
- 3) [レイアウトの割り当て] ページが表示されます。[ページレイアウト] 欄の対象のページレイアウトをクリックします。
 - ※ページレイアウトが複数ある場合はそれぞれ設定が必要です。

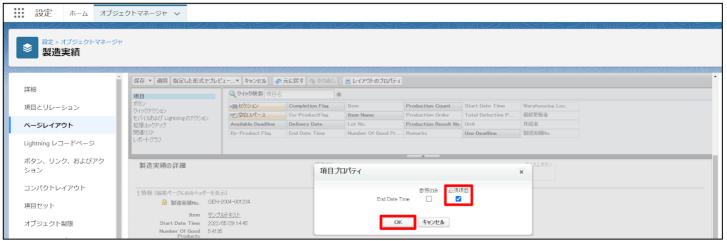


1) ページレイアウト個別のページが表示されます。追加する項目をドラッグ&ドロップで任意の場所に配置します。必須化/解除する項目のプロパティを開き、必須フラグをON/OFFにします。 ※項目の配置例



※項目を必須項目へ変更例(例)製造実績の終了時刻を必須項目にする

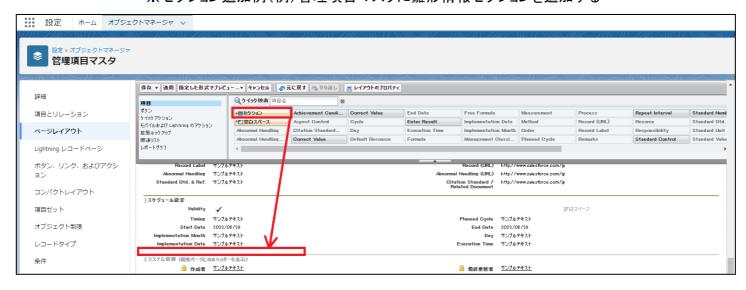


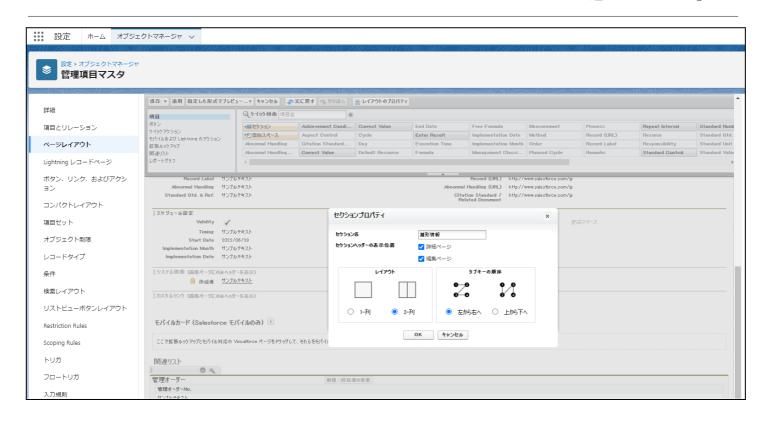


※項目を参照項目へ変更例(例)仕入の納入在庫場所を参照項目にする

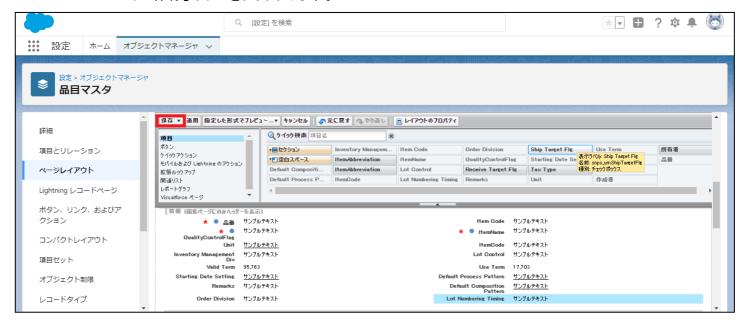


※セクション追加例(例)管理項目マスタに雛形情報セクションを追加する





4) 「保存」ボタンをクリックします。



6.13. ページレイアウトのアクション変更

下記表のオブジェクトに対して、アクションを設定します。
レコード詳細ページ等で表示されるボタンが変更されます。

オブジェクト	ページレイアウト	変更 内容	項目	アプリケーション			
	יוני	內谷		工程 進捗	販売 購買	WMS	
請求	UM販売管理 Billレイアウト	追加	削除(snps_umDelete)		•	_	
支払予定	UM販売管理 Paymentレイ アウト	追加	削除(snps_umDelete)	_	•	_	
購買オーダー	Purchase Order Requestレイ アウト2	追加	編集(Edit) 削除(Delete) 新規行動(snps_umCreatedNewEvent) 新規ToDo(snps_umCreatedNewTask) 活動の記録(snps_umCreatedLogACall) 投稿(FeedItem.TextPost) ファイル(FeedItem.ContentPost)	•	•	_	

<手順> (例)受注生産

1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ >対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイアウト] ページの「ページレイアウト」から該当のページレイアウトを選択します。



3) Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクションの「上書きしてカスタマイズ」(レンチのアイコン)をクリックします。



4) ページレイアウト個別のページが表示されます。モバイルおよびLightningのアクションから項目をドラッグ&ドロップし、Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクションセクション内の任意の場所に配置します。

※受注生産の配置例



5) 「保存」ボタンをクリックします。



6.14. ページレイアウトの関連リスト配置変更

下記表の参照関係を持つオブジェクトに対して、関連リストの配置を変更します。各オブジェクトの関連リストで参照関係のオブジェクトの値を確認できるようになります。

オブジェクト	ページレイアウト	変更	関連リスト	表示項目 ※推奨	アプリケーション			
		内容		次推奨	工程 進捗	販売 購買	WM S	
リソースマスタ	Resource Masterレイアウト	追加	金型マスタ	金型 金型コード 品目 累積ショット数 最大ショット数 取数	•		_	

<手順> (例)カレンダーヘッダマスタ

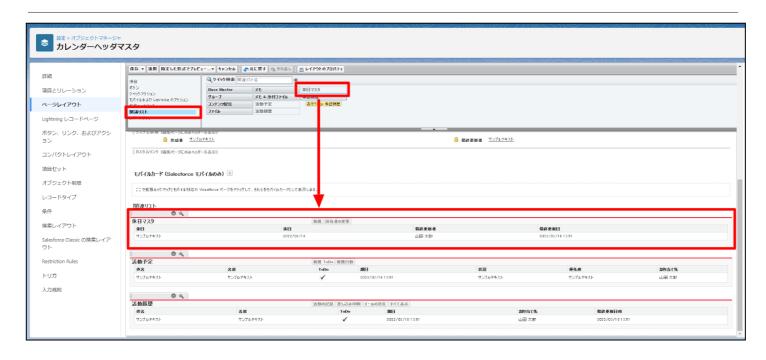
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ >対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



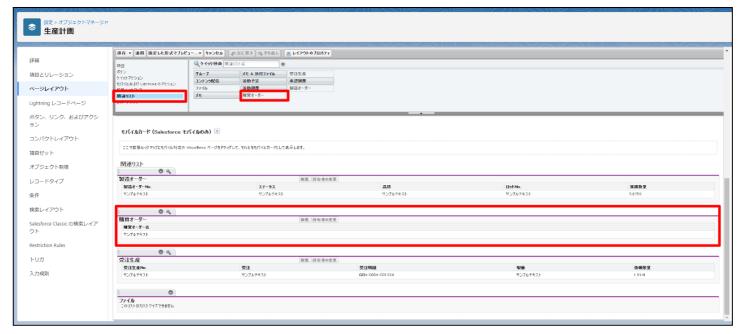
2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイア ウト] ページの「ページレイアウト」から該当のページレイアウトを選択します。



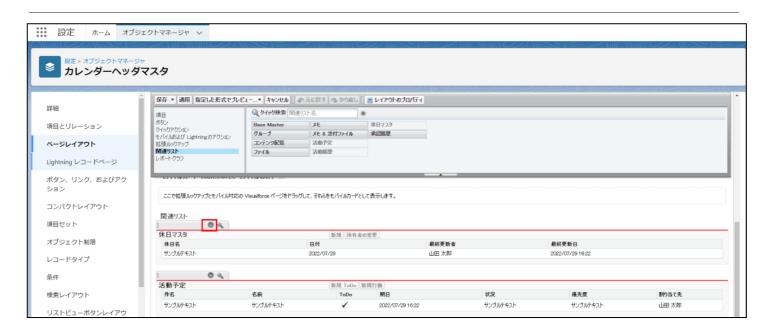
- 3) ページレイアウト個別のページが表示されます。関連リストをドラッグ&ドロップで関連リストセクション内の任意の場所に配置します。
 - ※カレンダーヘッダマスタの配置例



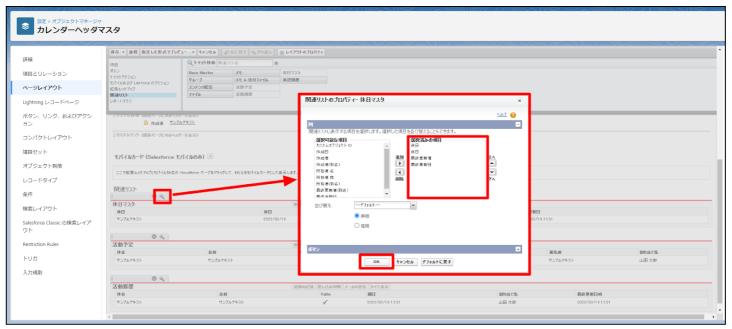
※生産計画の配置例



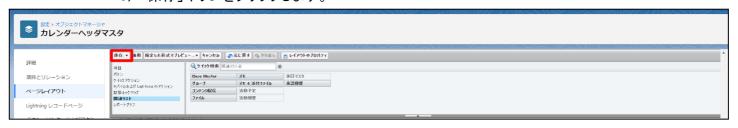
※関連リストを削除する際は、削除アイコンを選択します。



4) 配置した関連リストの「レンチ」アイコンをクリックして[関連リストのプロパティー] を開き、[選択済みの項目] に任意の表示項目を並べ、「OK」ボタンをクリックします。



5) 「保存」ボタンをクリックします。



6.15. ページレイアウトの必須項目の変更

必須設定が変更された項目の設定を変更します。

オブジェクト	ページレイアウト名	変更内容	項目	アプリケーション		
				工程 進捗	販売 購買	WMS
子品目消費実 績	UMPROCESS_ChildItem ConsumptionActualRes ultLayout	必須項目のチェック ON → OFF	Lot No.	•	_	_

<手順> (例)子品目消費実績

1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



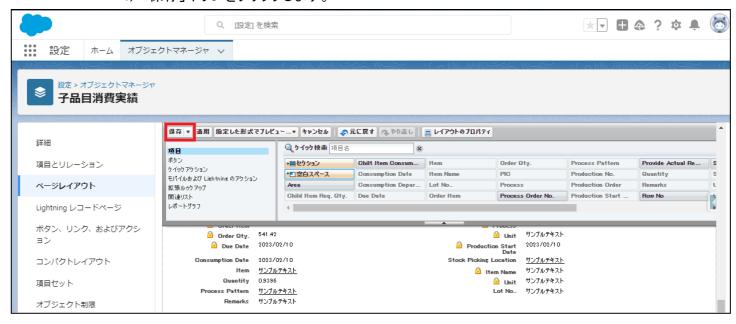
2) 該当のページレイアウトをクリックします。



3) 必須設定を変更する項目の項目プロパティを開きます。 「必須項目」のチェックを変更し、OKボタンをクリックします。



4) 「保存」ボタンをクリックします。



6.16. オブジェクトの選択リスト項目の追加・編集・削除・無効化

下記表のオブジェクトの選択リスト項目の選択リスト値を追加・編集・削除・無効化します。

オブジェクト	選択リスト	選択リスト値	変更内容	API 参照名	アプリケーション		
					工程 進捗	販売 購買	WM S
請求	伝票区分	One-time	項目編集 API参照名「Onetime 」→「One-time」	One-time ※既に設定済みの 場合、追加の設定は 不要です。		•	_

<手順>(例)WMS在庫明細の受払区分の項目を変更

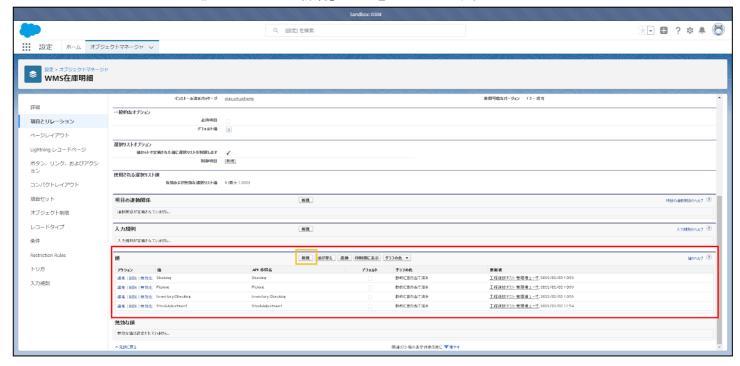
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



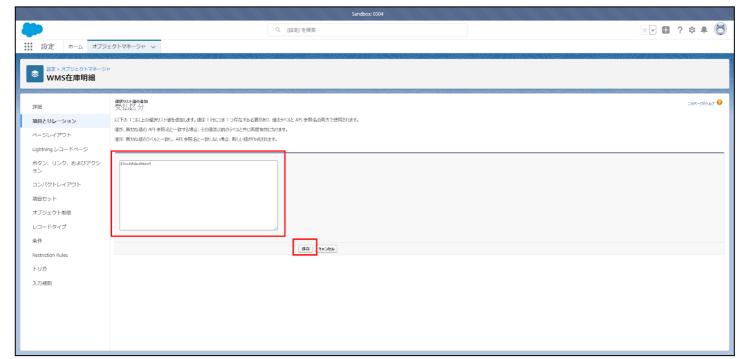
2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「項目とリレーション」をクリックし、「項目とリレーション」 ページから対象の選択リスト項目をクリックします。



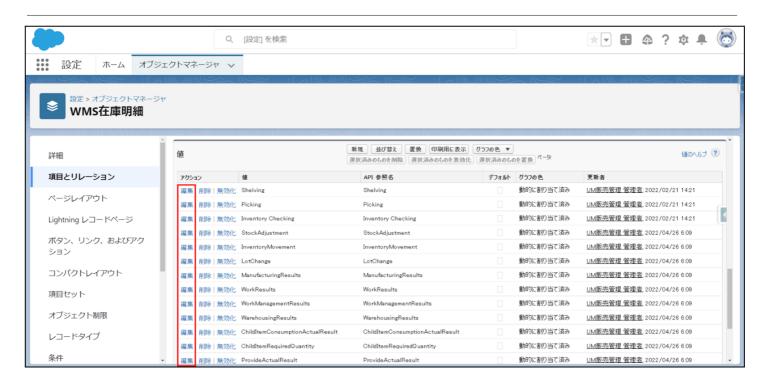
- 3) 対象の選択リスト項目のページが表示されます。[値] セクションの該当のボタンをクリックします。
 - a) 「新規」の場合
 - i) 値セクションの「新規」ボタンをクリックします。



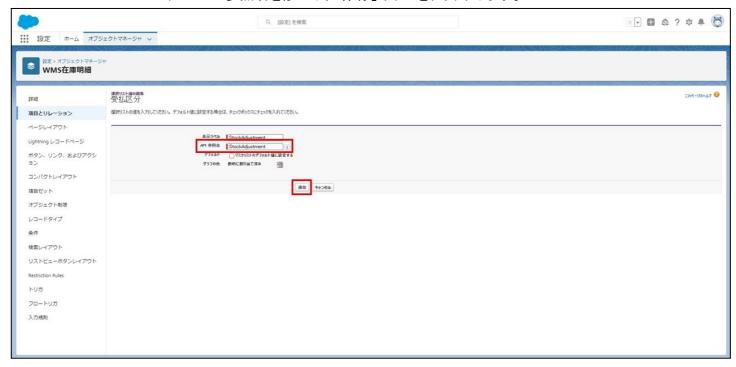
- ii) [選択リスト値の追加] ページが表示されます。入力欄に追加する選択肢を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
 - ※入力欄には複数の選択肢を一括入力することができます。改行して入力してください。



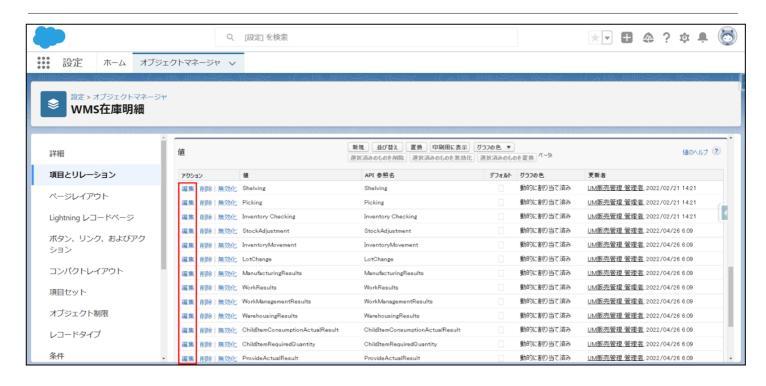
iii) API 参照名の編集が必要な場合、値セクションの「編集」ボタンをクリックします。



iv) API 参照名を修正し、「保存」ボタンをクリックします。



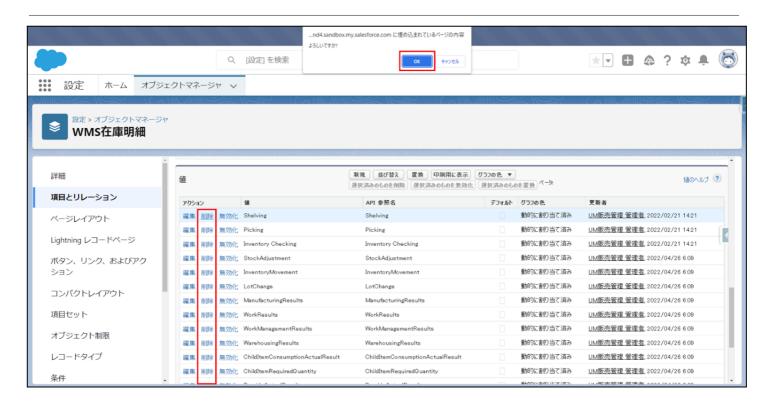
- b) 「編集」の場合
 - i) 値セクションの「編集」ボタンをクリックします。



ii) 変更内容に記載の通り修正し、「保存」ボタンをクリックします。

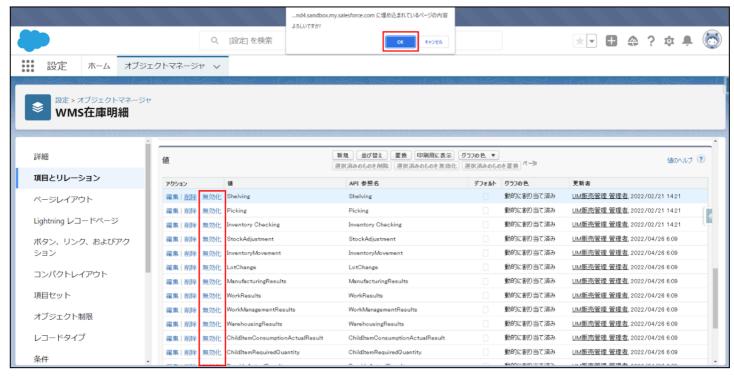


- c) 「削除」の場合
 - i) 値セクションの「削除」ボタンをクリックします。
 - ii) 削除時の確認ダイアログに対して「OK」をクリックします。



d) 「無効化」の場合

- i) 値セクションの「無効化」ボタンをクリックします。
- ii) 無効化時の確認ダイアログに対して「OK」をクリックします。



6.17. ボタンの設定変更

下記表のオブジェクトの新規ボタン、編集ボタンをクリックした際に開く画面を作成しました。ボタン、リンク、およびアクションにて設定を変更します。

各ボタンをクリックしたときに起動する画面を設定します。

オブジェクト	表示ラベル	アクション	ページ名称	アプリケーション		
				工程 進捗	販売 購買	WM S
請求	削除	上書き	BillDeleteButton	_	•	_
支払予定	削除	上書き	PaymentDeleteButton		•	_
購買オーダー	新規•編集	上書き	domainPurchaseOrderRequestInputWrap		•	_

<手順>(例)入庫

1) 画面右上の歯車ボタン「設定」をクリックします。

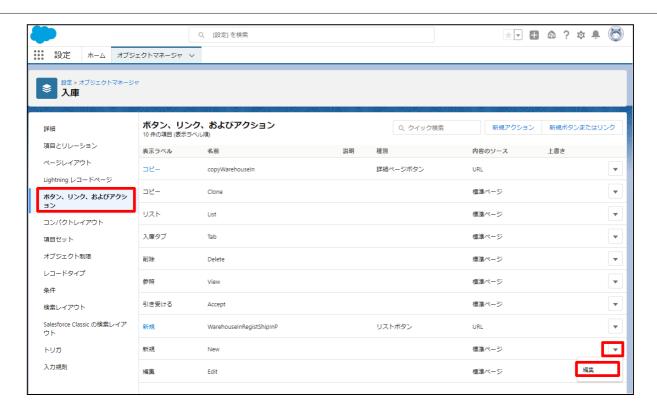


2) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ >対象のオブジェクトをクリックします。※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます



- 3) ボタン、リンク、およびアクションをクリックし、該当のボタンの編集をクリック
- ※同じボタン名が2つある場合、内容のソースが「標準ページ」の方の編集をクリック
- (例)入庫の新規ボタンの場合

下図に新規ボタンが2つ表示されているが、内容のソースが「URL」ではなく「標準ページ」である下の行の新規ボタンの▼をクリック



4) 「新規」「編集」ボタンの場合、「Lightning Experienceの上書き」、「モバイルの上書き」の設定を変更し、「保存」ボタンをクリックします。



5) 「削除」ボタンの場合、「Salesforce Classic の上書き」の設定を変更し、「保存」ボタンをクリックします。



6.18. 項目セットの追加

下記表のオブジェクトに対して、項目セットに項目を追加します。

オブジェクト	項目セット	追加項目(項目の表示ラベル)	アプリケーション			
			工程 進捗	販売 購買	WMS	
支払予定明細	明細コンポーネント表示項目	発生レート(Origin Rate) ※推奨:「単価(組織共通通貨)(Price (Org Currency))」の上	_	•	_	
受注明細	明細コンポーネント表示項目	回答納期(Reply Delivery Period) ※推奨:「備考(Note)」の上	_	•	_	

<手順> (例)支払予定明細に消費税計算区分を項目セット

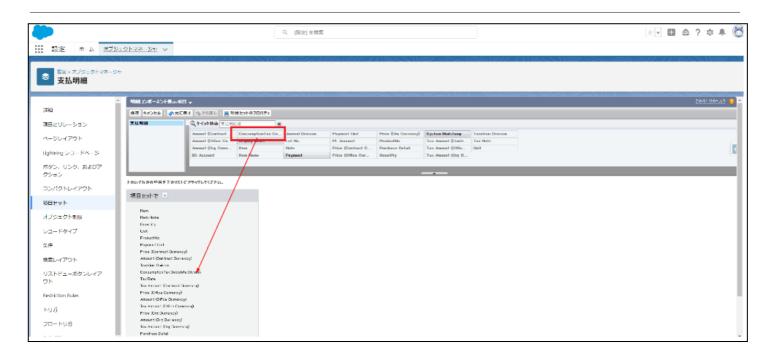
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。 ※クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「項目セット」をクリックし、該当の項目セット[明細コンポーネント表示項目]をクリックします。



3) 追加したい項目[Consumption Tax Calculate Division]をドラック&ドロップをしてリストに追加し、「保存」ボタンをクリックします。



7. UM共通用設定 2023/03/08改訂

7.1. フローの有効化/無効化設定

[フローの有効化/無効化確認]で確認したフローと、バージョンアップ後のフローを照らし合わせ、有効化の状態に変更がある場合は、バージョンアップ前の状態に変更ください。 確認対象のフローや設定手順は「フローの有効化/無効化確認」を参照ください。

7.2. ページレイアウトの項目配置変更

下記表のオブジェクトの項目変更に伴い、割り当て済みページレイアウトに対して項目配置と設定変更をします。

※カスタムLightningレコードページをご利用の場合はLightningレコードページにも追加対応が必要です。

追加項目の反映方法につきましては、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「Lightningレコードページの項目追加」をご参照ください。

オブジェクト	ページレイアウト名	変更	項目(項目の表示ラベル)	アプリケーション		
		内容		工程 進捗	販売 購買	WMS
支払実績明細	Payment Result Detail Layout	削除	廃止:消費税計算区分 (zz_Abolition:Consumption Tax Calc Div)	_	•	_

<手順> (例)品目マスタ

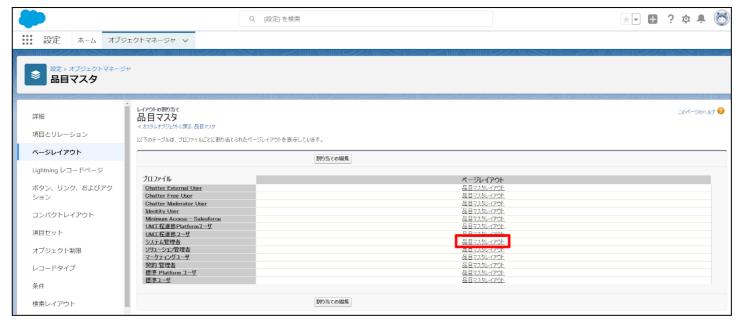
1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。 ※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます。



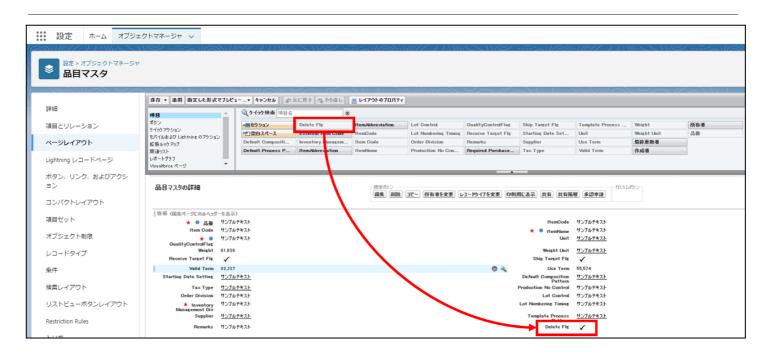
2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイア ウト] ページの「ページレイアウトの割り当て」ボタンをクリックします。



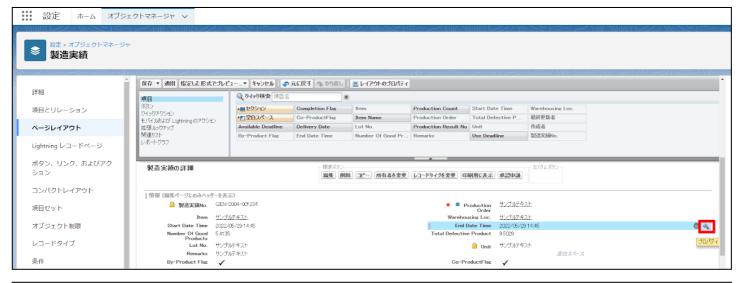
- 3) [レイアウトの割り当て] ページが表示されます。[ページレイアウト] 欄の対象のページレイアウトをクリックします。
 - ※ページレイアウトが複数ある場合はそれぞれ設定が必要です。

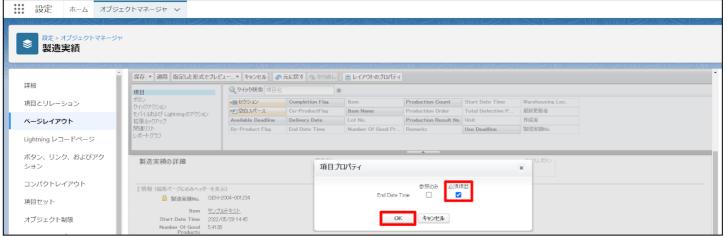


4) ページレイアウト個別のページが表示されます。追加する項目をドラッグ&ドロップで任意の場所に配置します。必須化/解除する項目のプロパティを開き、必須フラグをON/OFFにします。 ※項目の配置例



※項目を必須項目へ変更例(例)製造実績の終了時刻を必須項目にする

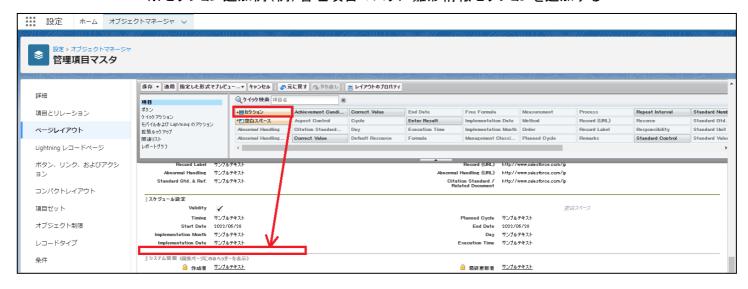


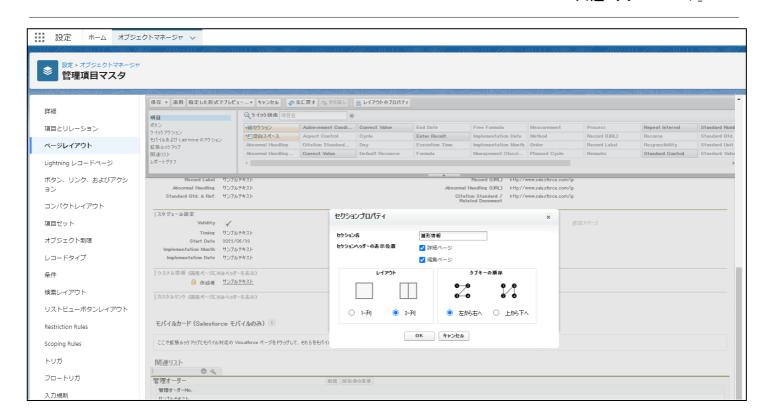


※項目を参照項目へ変更例(例)仕入の納入在庫場所を参照項目にする

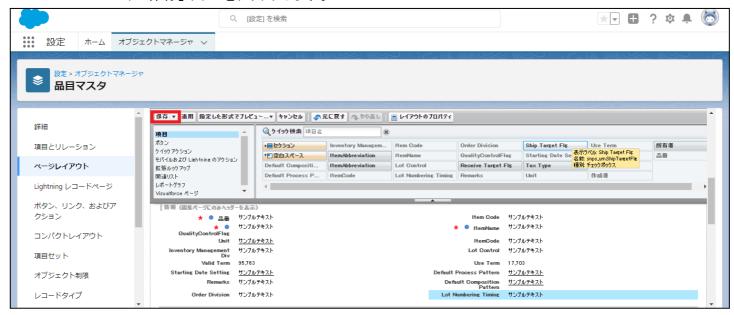


※セクション追加例(例)管理項目マスタに雛形情報セクションを追加する





5) 「保存」ボタンをクリックします。



7.3. 月次在庫評価のみを再計算する臨時処理

月次在庫評価の不具合修正に伴い、月次在庫評価のみを再計算するためのデータパッチ用画面を追加しました。

以下の手順に従い、既存の月次在庫評価レコードの更新を行ってください。

※パッチ実行対象は【データパッチの実行準備】をご参照ください。

月次在庫評価の計算には、対象年月の月次在庫レコードの値を使用しているため、対象年月の月次在庫締指示が「締処理実行」の状態であることを前提としています。

対象年月の月次在庫締指示が未実施、あるいは「締処理解除」の場合には、本データパッチ用画面は使用せず、月次在庫締指示にて在庫締処理を実施してください。

<データパッチ 実行手順>

【データパッチ用画面の権限追加】

データパッチ用画面を使用するため、権限を追加します。

1) 画面右上の歯車マークから「設定」をクリックします。



2) クイック検索欄に「権限セット」と入力し、「権限セット」をクリックします。



3) 「新規」ボタンをクリックします。



4) 表示ラベル、API参照名に任意の名称を入力、ライセンスは「Salesforce」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。



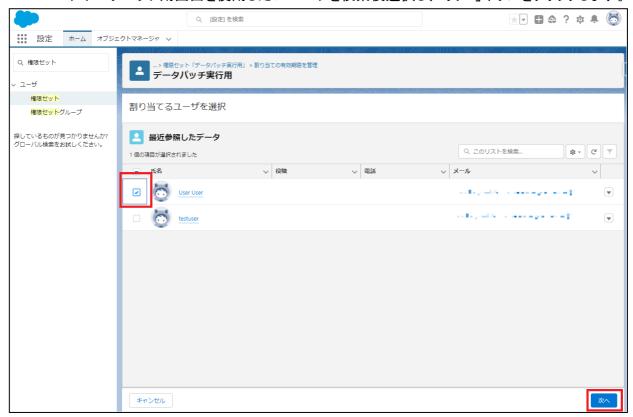
5) 「割り当ての管理」ボタンをクリックします。



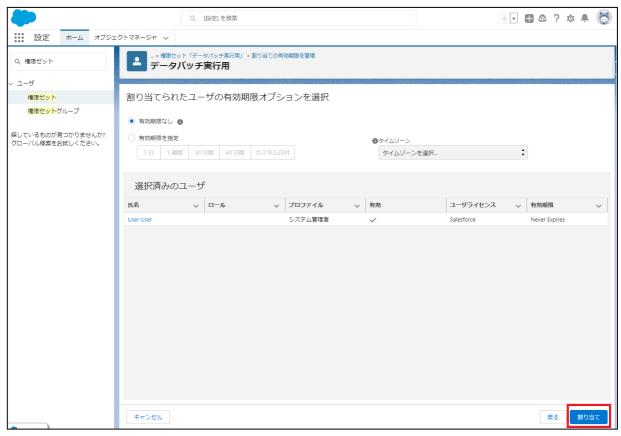
6)「割り当てを追加」をクリックします。



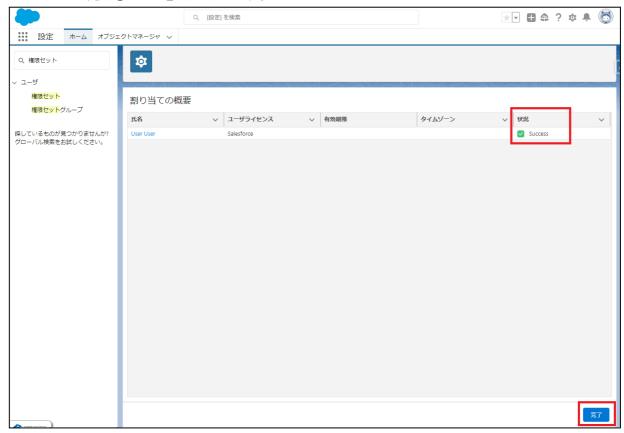
7) データパッチ用画面を使用したいユーザを検索後選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



8) 「割り当て」ボタンをクリックします。



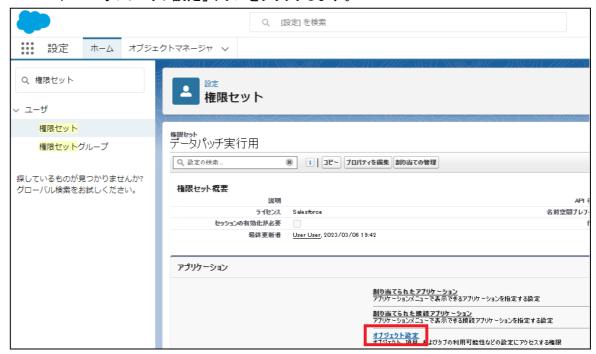
9) 割り当てが正常に完了すると、「状況」がSuccessとなります。 「完了」ボタンをクリックします。



10) 作成した権限セット名のリンクをクリックします。



11) 「オブジェクト設定」ボタンをクリックします。



12) 「【データパッチ】月次在庫評価指示」をクリックします。 ※ブラウザの検索を使用すると見つけやすくなります。



13) 「編集」ボタンをクリックします。



14) 「利用可」、「参照可能」にチェックを入れ、「保存」ボタンをクリックします。

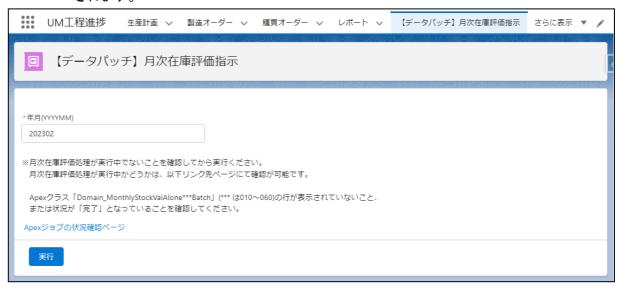


【データパッチ用画面の表示】

- データパッチ用画面をアプリケーションランチャーから検索します。
 - 1) 画面左上のアプリケーションランチャーの検索ボックスに「月次在庫評価」と入力します。



2) 表示された「【データパッチ】月次在庫評価締指示」をクリックすると、データパッチ用画面が表示されます。



【データパッチの実行準備】

既存の月次在庫評価レコードを参照し、データパッチの実施が必要となる最初の年月と最後の年月を確認します。

(データパッチの実施対象となる開始と終了の年月が判明している場合には実施不要です。)

1)「月次在庫評価」のタブをクリックします。



2)「月次在庫評価」の全てのレコードのうち、年月が一番古いものと、一番新しいものを確認します。

(以降の手順にて、一番古い年月から一番新しい年月までを順次指定してデータパッチを実行します。)



【データパッチの実行】

データパッチ用画面にて、一番古い年月から順次、月次在庫評価指示を行います。

- 一番古い年月から一番新しい年月まで、年月ごとに1回ずつ実行することが必要となります。
- 1) 対象年月を指定し、「実行」ボタンをクリックします。 画面の注意書きに従い、月次在庫評価処理が既に実行中でないことを確認してから実行してく ださい。

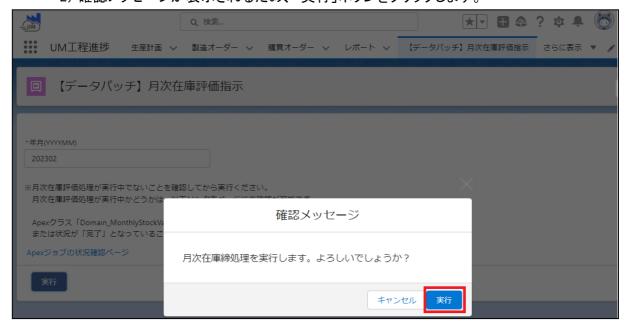


・月次在庫評価処理が実行中かどうかの確認

リンク先の「Apex ジョブ」ページにて、対象のApexクラスの表示行がないこと、または表示されている場合には状況が「完了」となっていることを確認し、実行してください。



2) 確認メッセージが表示されるため、「実行」ボタンをクリックします。



3) メッセージが表示され、月次在庫評価処理が実行されます。

処理が完了したかどうかは、前述の「月次在庫評価処理が実行中かどうかの確認」の方法で確認が可能です。



4) データパッチの実行が必要な一番新しい年月まで、1) の手順に戻って月次在庫評価指示を繰り返し実行します。

【データパッチ用画面の権限削除】

データパッチ用画面を使用するために追加した権限を削除します。

1) 画面右上の歯車マークから「設定」をクリックします。



2) クイック検索欄に「権限セット」と入力し、「権限セット」をクリックします。



3)【データパッチ用画面の権限追加】で作成した権限セット名をクリックします。



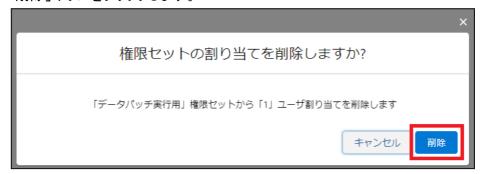
4) 「割り当ての管理」ボタンをクリックします。



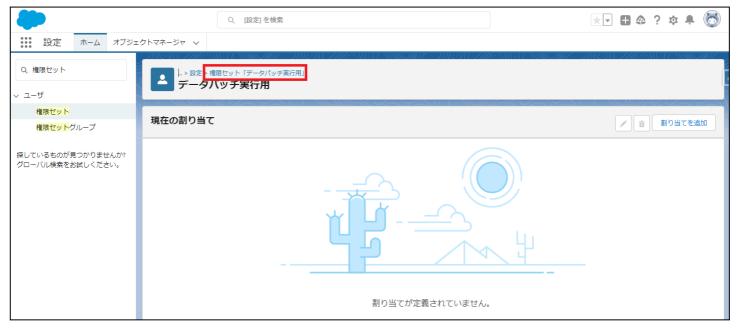
5) 割り当て済みのユーザーにチェックを入れ、ゴミ箱マークをクリックします。



6) 「削除」ボタンをクリックします。



7) 割り当てがなくなったことを確認し、権限セット名のリンクをクリックします。



8) 「削除」ボタンをクリックします。



9)「OK」ボタンをクリックし、削除を実行します。

